



ハチはどうして針はりをもっているの

針はりは産卵管さんらんかんの変化へんかしたもので、メスにだけある

ハチの針はりは、産卵管さんらんかんが変化へんかしたものです。だから、メスだけが針はりをもっています。女王バチじょおうと、メスであるはたらきバチには、針はりがあり、オスにはありません。

女王バチじょおうの針はりは、2ひき以上の女王バチじょおうが、同時にどうじ生まれたとき、相手あいてをさしころして、自分が女王バチになるための武器ぶきで、人ひとをさしたりはしません。卵たまごを産むのは女王バチじょおうだけで、卵たまごは、針はりの下したにある別な管べつくだから産み出うされます。

針はりはよくできた武器ぶき

ミツバチの針はりなどは、いちどつきさすと、つきさした相手あいての皮ひふにひっかかって、ぬけないようになっていいます。針はりと、毒どくを針はりから送おくるしかけの部分ぶぶんは、簡単かんたんにハチからちぎれて、さした相手あいての皮ひふに残のこり、毒どくを送おくりつづけます。このとき、特別とくべつのにおいが出て、そのにおいに興奮こうふんしたハチたちが、いっせいにさしに集あつまってきます。こうなったら、大変危険たいへんきけんです。

ハリナシバチとアリ

ミツバチと同じような集団生活しゅうだんせいかつをしているハチの仲間なかまに、ハリナシバチという種類しゅるいがあります。南アメリカみなみに、すんでいます。この仲間なかまは、針はりをもっていません。使わなくなっただものは、すててしまったのです。

アリは、「針はりをすてたハチだ」という学者がくしゃもいるくらい、ハチの仲間なかまに近い種類しゅるいです。ほとんどのアリは、針はりをもっていません。（監修・中山 周平）

